

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ		
題名・副題	身近な資源の大切さを学ぼう ～「もったいない」の意識を高める～		
月日・時間	6月2日(日) 10:00～12:00		
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 2F 実験室		
部会・講師名	グリーン部会 柳川三郎	参加数	5名
		講師数	5名
写真			
	紙芝居で食べ物の地産地消を説明		新聞広告紙で小物入れの作り方を指導
			
	広告紙を利用して小物入れ作りに挑戦		
成果解説	<p>この教室は、身近な資源（食べ物、捨てるもの、エネルギーなど）の大切さを学び、「もったいない」の意識を高めることが目的。</p> <p>始めに、食べ物の地産地消についてイチゴやトマトを例に自然の恵みと消費の仕組みを紙芝居で説明しました。最近、大きな環境問題になっているマイクロプラスチックの海洋汚染について、ウミガメがビニール袋をクラゲと間違えて食べて死んでしまう話をし、買い物にはマイバックを使用して、ビニールのレジ袋などを少なくすることが大切であることを解説しました。工作では、捨てるものを少なくして再利用することの大切さを話しながら、新聞の広告紙を利用して、手作りの小物入れを作りました。作った小物入れの中にヒマラヤシーダーの実と旬のイチゴとトマトを入れて持ち帰り品にしました。また、風呂敷きで物を包む結び方を実演して示した。</p> <p>実験では、白熱電灯、蛍光灯、LED の消費電力の比較を手回し発電機で実験し、LED の電力消費が少ないことを体験しました。家庭の照明をこまめに消すこと、歯磨きで水道水を節約することなどを話し合いました。</p>		